

町田通勤寮だより

NO 83 2020年11月

社会福祉法人つるかわ学園 町田通勤寮

〒194-0045 東京都町田市南成瀬1-5-3

電話 042 (739) 0491

巻頭言 「新たな生活様式」

寮長 三階 広明

年明けからの「新型コロナウイルス」感染拡大防止のため、様々な場面で「自粛」がいわれ、「新たな生活様式」という提案がなされています。気が付けば早くも十二月を迎え、「年末年始をどう過ごすか」が話題になっています。皆さんのご予定はいかがでしょうか。

「Withコロナ」という表現でも表される「新たな生活様式」は特段目新しいことではないと感じますが（インフルエンザ等の感染症対策として以前から指摘されていたことが多いので）、未知の「ウイルス」という事で改めて強調されているのでしょうか。

通勤寮の利用者は「新しい環境」に慣れることが苦手な方が多く、三月に入室した方は、生活環境が大きく変わり、毎年苦労しているのですが、今年は「入社式延期・中止」、「在宅勤務・自宅待機」等、「働くこと」を慣

づける時期に普段は体験しない環境の中におかれ大きな戸惑いを感じていたことと思います。それによって、「就労を中心とした生活のリズム」が上手く作れないことで苦労していた方も見られました。支援として必要なことは取り組んでいたのですが、中々上手くいかないケースもありました。改めて「通勤寮の支援」を見直すチャンスと捉えていきたいと思えます。

話は変わりますが「歴史とは勝者のものである」という言葉があります。「勝者は自分に不都合な記録は残さない」からと言われます。

今年のNHK大河ドラマの主人公「明智光秀」もそうですが、近年「時代小説」の分野でも「敗者」（天下の覇者になれなかった者＝敗れた者）が主人公となっている作品が目につきます。私は「新しい視点」で歴史を見直すことができるので歓迎です。（勝者の歴史は書き尽くされた感がある？誰でも知っていることしか書けない？）

さて、この「コロナ」については、後世どのように記録されるのでしょうか？

体験入室の受け入れについて

主任支援員 武智 里峰

毎年、多摩地区近郊の支援学校さんから、『通勤寮を希望しています』とお話を頂き、見学・体験（体験前にアセスメントなど）をして頂いております。

今年はこの年の中でも多くの支援学校さん、他関係機関から入室相談の連絡を頂いている状況です。

コロナ関係で、生徒さんの就職活動・実習が後倒し、秋に持ち越し、そ

れと同時に体験をして頂いたので、生徒さんが数名重なる事が多くありました。また、今年から体験を2週間から3週間に増やして頂きました。2〜3週間に増やした事と、体験する目的としては、就労に対する意識を高める上で、しっかりと通勤寮の生活を実感して頂きたい事、学校生活とは違うルールの下で、自分自身と向き合い、2年間、通勤寮生活ができるかどうかを見極めて頂くためです。

それと家族・友人・知り合いもない、緊張・責任を背負いながらの実習と生活環境の変化の中で、就労継続と安定、生活面での安定を図っていく事ができるかを見極めるためでもあります。まだ18歳でこれを考えなくてはならない事は容易ではありません。他者に左右されず、自分自身を強く持ち、2年後の目標(将来の目標)をしっかりと持っていないと通勤寮生活は大変なものになってしまいます。

少々厳しい言葉ではありましたが、これが現実であり、通勤寮です。現在も、生徒さんご本人、先生、ご家族等から情報を共有させて頂きながら、入寮について時間を掛けながら検討を重ね話し合いを進めている生徒さんもういらっしゃいます。

未来ある利用者さんの為に、就労・生活の安定の為、私たちができる限り支援させて頂ければと考えております。

今後、どうぞよろしくお願い申し上げます。

GH体験（法人内GH）について

支援員 浅田 恵理子

通勤寮を利用されている方の中で、2年目あたりに入ると進路を決める大切な時期となります。

今年も数名の方が法人内GHを希望され、今回女性利用者さんがあるGHの体験1回目を行いました。通勤寮でいくつかある講座の一つに「地域生

活講座」というものがあり、主に1年目の方が法人内GHの見学を行い、GH生活について勉強をします。マンション・アパート・戸建てなどがありますが、先日体験された方はアパートタイプの1室で体験をされました。2DKのタイプで、2部屋のうち一部屋を個室として利用し、もう一つの部屋には他の利用者さんが生活をされています。その為、個室以外の部分は共有部分となるので使用時間や掃除について当番制で決めるなど、お互いに気持ちよく生活出来る様に、ルール決めを行いました。

通勤寮と違い、食堂兼世話人室が別の部屋にあるため幾つか鍵を持つこととなります。(生活をする部屋の入口の鍵、居室の個室の鍵、食堂の鍵)事前にGHについての説明を受けていたとしても、いざ生活してみると分らない事も沢山出てきます。そんな時は、フクシアの支援員やGH世話人さんに聞いて解決をしていきます。

体験期間は2週間でしたが、初めは慣れるのに精いっぱいなので2回目の体験では少し気持ちにゆとりを持って臨めるのではないかと思います。

忘年会

支援員 佐々木 宏典

例年の忘年会は町田のラウンドワンでボーリング、その後東林バーベキューの食べ放題をみんなで楽しんでおりましたが、今年は新型コロナウイルス染拡大に伴い「忘年会」というイベントそのものを中止せざるを得ない状況となってしまいました。利用者の方々にも楽しみにして頂いていたイベントの一つだけあって中止という判断はとても心苦しい限りであります。

せめてその日の食事だけでも、いつもよりちよっぴりおしゃやれな食事とドリンク、ケーキを注文し、今年一年の労いとさせていただければと考えております。新型コロナウイルスの関係でこういったイベントだけでなく、

寮内での生活もいくつか制限を余儀なくされている中でちよつとでも「嬉しい」を感じてもらえればと思います。

調理実習

調理員 高橋 典子

10月11日(日)に調理実習を行いました。

「栄養たっぷり 旬の食材×秋の味覚を楽しむ料理」と題して、ほうとう・ナスときのこのホイル焼き・カボチャ白玉3品を作りました。

今回は、2名の参加でした。ほうとうは、野菜を切る事が多かったですが毎回参加されている方なので一段と包丁さばきが上手になり見ているの希望もあり1人1.5人前で作りました。その加減で途中、水の量と調味料も増し味を調えました。麺の固さも自分好みになるよう端を切り確認し茹でました。かぼちゃの白玉は、一口大に丸める時、童心に帰ったように楽しそうに形を整えていました。ナスときのこのホイルマヨ焼きは、アルミホイルで手作りのお皿を作りました。

最初に調理分担は決めていましたが、一段落した時点でお互いのメニューのお手伝いが出来、助け合つて調理をしました。協力して作ったお料理を会話をはずませながら美味しく食べられていました。

最後に「今回のメニューどれも好きなメニューだったよ」と満足そうに話されていました。

次回の調理実習は、12月を予定しています。初めての方も大歓迎です。皆様のご参加お待ちしております。



今後の主な予定

12月12日(木) 忘年会

1月17日(日) 成人を祝う会

◆町田通勤寮だよりのバックナンバーはつるかわ学園公式HPよりご覧になれます。